

令和7年度 第1回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 議事要旨

日時: 令和7年8月4日(月) 13:30～15:00
場所: 静岡国道事務所 2階会議室・Teams

1. 議題

- (審議) (1) これまでの取組経緯
(2) 令和6年度 of 取組状況
(3) 令和7年度 of 取組状況
(4) 主要渋滞箇所のモニタリング結果
(5) 観光期の渋滞対策について

2. 議事要旨

(令和6年度 of 取組状況)

- ・国道1号島田金谷バイパスの4車線化、富士川かりがね橋の整備により、旅行速度向上や所要時間短縮等の効果を確認。
- ・国道1号掛川バイパスの西郷IC及び大池ICの加速車線延伸により、急減速発生件数の減少を確認。
- ・国道1号東椎路東交差点の信号現示調整、長泉IC交差点の右折レーン延伸により、渋滞長や滞留長の減少を確認。

(令和7年度 of 取組状況)

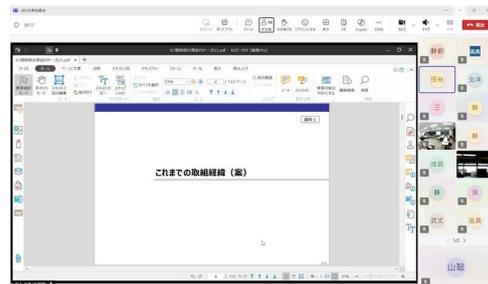
- ・鹿谷郵便局前交差点において、右折車両による直進車両の通行阻害を緩和する整備として、右折車線の設置を実施。
- ・国道1号静岡市南安倍～手越原における中央線変移システムの廃止により一部区間で速度が低下。交通状況のモニタリングを行い、周辺道路も含めた対策方針を検討。
- ・国道139号小泉若宮交差点において、左折車と直進車の混在による速度低下を解消するため、左折専用車線を新設する局所渋滞対策事業を新規事業化。

(主要渋滞箇所のモニタリング結果)

- ・主要渋滞箇所のモニタリング結果について報告。モニタリングの結果、「丸子IC」の渋滞緩和を確認。主要渋滞箇所からの削除可否について審議し、削除する方針で了解。

(観光期の渋滞対策について)

- ・静岡県内の観光期の交通状況と朝霧高原エリアで実施した経路分散施策について報告。施策により迂回ルートの利用割合が増加したが、渋滞は残存。今後は具体的な対策案を検討。



▲会議風景 (対面・WEB)